

2015年を 核兵器廃絶の年に

非核の政府を求める兵庫の会 第29回総会

2015. 2. 14

川崎哲(ピースボート／ICAN)



世界にはこれだけの核兵器がある

世界の核弾頭数					2014年4月現在					
	アメリカ	ロシア	イギリス	フランス	中国	インド	パキスタン	イスラエル	北朝鮮	計
配備	2,104	1,600	160	290	250	90-110	100-120	80	<10	4,180
未配備・予備 ・解体待ち	5,211	6,400	65	10						12,300
計	7,315	8,000	225	300	250	90-110	100-120	80	<10	16,400

出典: アメリカ科学者連盟(FAS)

2014年4月30日現在

は、核不拡散条約(NPT)非加盟国。(北朝鮮は2013年にNPT脱退を宣言)

中国、インド、パキスタン、イスラエルの核兵器の配備状況は不明。北朝鮮の核兵器能力は不明。

推定概数のため、合算と総計との間に誤差がある。

核不拡散条約 (NPT)

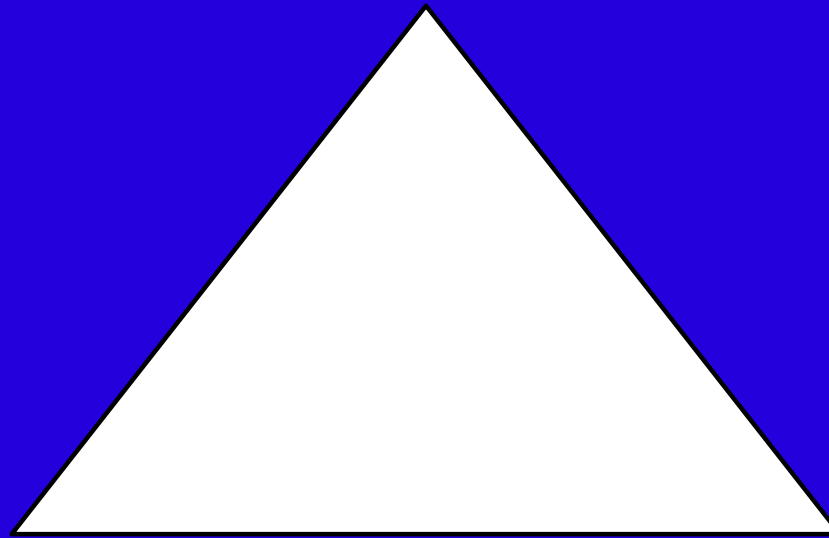
- 1970 発効
- 核兵器国
 米・口・英・仏・中
- 非核兵器国 180以上
- 非核兵器国は核を持たない(不拡散)
- かわりに核兵器国は核軍縮する



核不拡散条約(NPT)体制

NPT Regime

不拡散
第1条・第2条



軍縮
第6条
核軍縮義務

平和利用
第4条
「奪い得ない権利」

第一の取り引き 軍縮◀▶不拡散

Disarmament and Non-Proliferation

第6条：核兵器国の軍縮義務

Article VI: Disarmament obligation of NWS

各締約国は、核軍備競争の早期の停止および核軍備の撤廃に関する効果的な措置につき、並びに嚴重かつ効果的な国際管理の下における全面かつ完全なる軍備撤廃に関する条約について、誠実に交渉を行うことを約束する。

第二の取り引き 不拡散◀▶平和利用 Non-Proliferation and Peaceful Use

第4条：平和利用の権利

Article IV: “Ineligible Rights” for Peaceful Use of Nuclear Energy

この条約のいかなる規定も、・・・**平和的目的のための原子力の研究、生産および利用を発展させることについてのすべての締約国の奪い得ない権利**に影響を及ぼすものと解してはならない。

オバマ大統領 「核のない世界」

- 2009 プラハ演説
- 2007- キッシンジャー
元国務長官らの提言
- 核拡散
- 核テロ
- 核軍縮
- 「私の生きているうちは
できないかもしれない」



NPTがはらむ根本的問題

①核兵器国が**軍縮の約束**を果たさなかったら、
核不拡散の約束はどうなるのか？

②**原子力の「平和利用」**を拡大し続けたら、
核の拡散は止められるのか？

NPT再検討会議



1995

NPT無期限延長

究極的核廃絶に向け努力
中東決議

2000

核廃絶達成への明確な約束
13項目の軍縮措置に合意

2005

合意ゼロ

2010

64項目の行動計画
中東非核地帯

核使用の「破滅的な人道上的結果への深い憂慮」、「核兵器禁止条約」に「留意」



核兵器の「非人道性」と「非合法化」 をめぐる近年の動向

2010年NPT再検討会議



核兵器使用がもたらす「**破滅的な人道上的結果**への深い憂慮」、国際人道法の重要性

→「**核兵器禁止条約**」を含む
潘基文提案に「留意」

核兵器禁止へ条約構想
NPT会議 最終文書を採択

【ニューヨーク＝内教】国連本部で開かれていた核不拡散条約(NPT)の再検討会議は28日、核兵器禁止の具体的な行動計画を盛り込んだ最終文書を全会一致で採択、閉幕した。再検討会議での文書採択は10年ぶり。期限は定めなかったが「核兵器禁止の表現を目的に掲げ」「核兵器禁止条約」構想にも言及した。二面に解説、三面に関係記事

●核兵器禁止に向けた具体的な措置を含む行動計画で合意
●核兵器禁止条約の交渉検討の動きに注目
●核保有国は、核兵器の削減や廃絶の計画について、2014年の準備会に報告
●中東・インド・パキスタンにNPT加盟を要請
●インド、イスラエル、パキスタンにNPT加盟を要請
●北朝鮮の核は不拡散体制への重大な挑戦と指摘し、6者協議での約束の履行を要求

最終文書の骨子

●核兵器禁止に向けた具体的な措置を含む行動計画で合意
●核兵器禁止条約の交渉検討の動きに注目
●核保有国は、核兵器の削減や廃絶の計画について、2014年の準備会に報告
●中東・インド・パキスタンにNPT加盟を要請
●インド、イスラエル、パキスタンにNPT加盟を要請
●北朝鮮の核は不拡散体制への重大な挑戦と指摘し、6者協議での約束の履行を要求

朝日新聞

2010年(平成22年)
5月29日
土曜日
夕刊



一方、北朝鮮については、同国の核開発が核兵器を持つ国を増やさない体制への重大な挑戦だと指摘し、6者協議で約束した非核化の義務を完全に果たすよう求めた。

NPT加盟の非保有国でありながら、平和目的の原子力研究をかねての核開発を進めている疑いが持たれているイランは、会期中、国連安全保障理事会に追加制裁の草案が提出されたため、全会一致で最終文書採択に協力するよう求められた。だが、最終文書でイランの批判が回避されたこと、その結果が認められた。

赤十字の動き 「核兵器は国際人道法に反する」



ICRC

■2010年4月
赤十字国際委員会(ICRC)ケレンベルガー総裁「核の時代に終止符を」

■2011年11月
赤十字社および赤新月運動の
代表者会議(ジュネーブ)、
核兵器使用が国際人道法違反
であることを訴える決議を採択

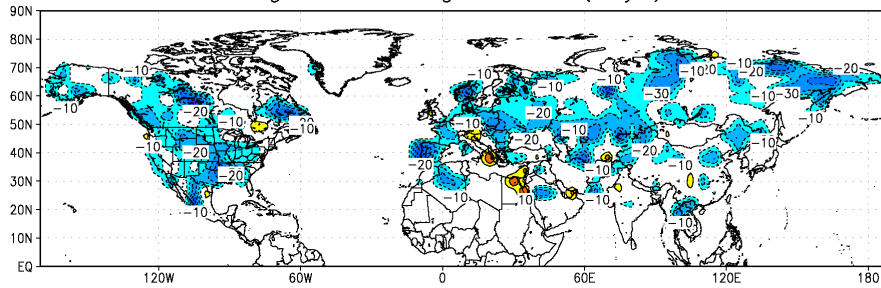
赤十字の新決議



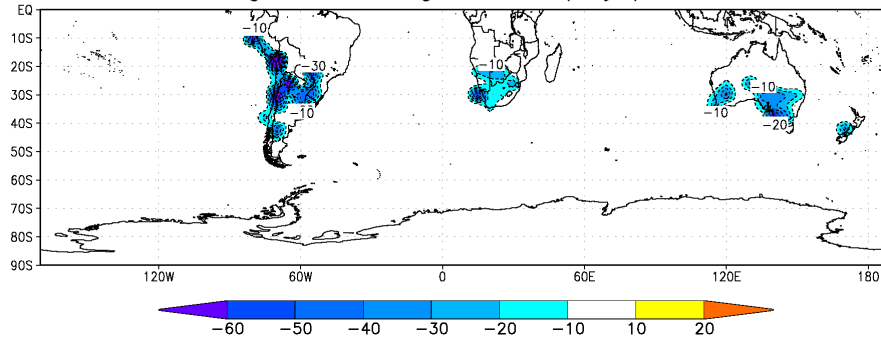
2013. 11

国際赤十字・赤新月運動代表者会議
新決議および4年間の行動計画
「核兵器の廃絶に向けて」

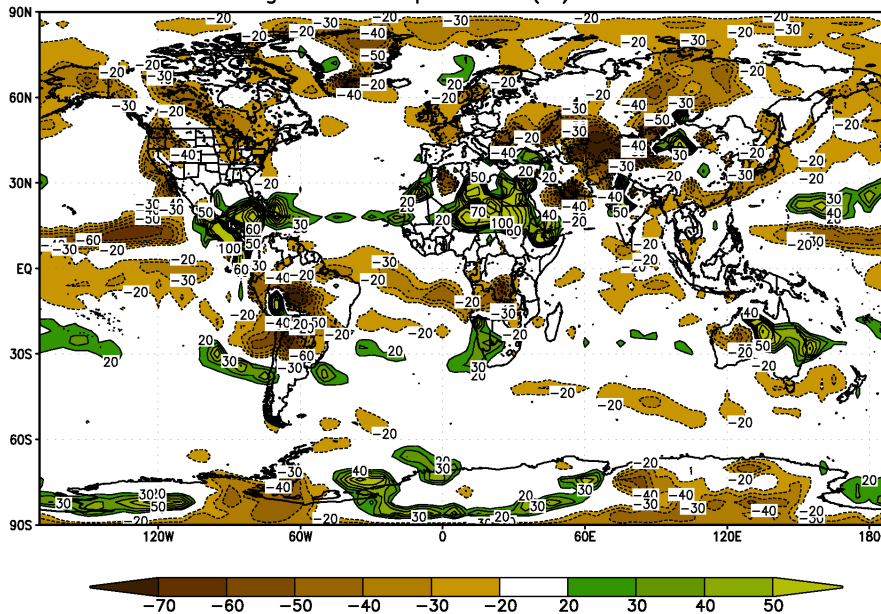
NH Change in Growing Season (days) Year 1



SH Change in Growing Season (days) Year 1-2



Change in Precipitation (%) JJA Year 1



核の飢饉



偶発的な核兵器の発射 核兵器に関わる事故のリスク



*Too Close to Comfort:
Case of Near Nuclear Use and
Options for Policy*
Patricia Lewis and Heather
Williams, Chatham House



2012. 5月 NPT準備委員会 16カ国「核軍縮の人道的側面」



核兵器使用がもたらす「**破滅的な人道上の結果**への深い憂慮」、国際人道法の重要性

オーストリア、チリ、コスタリカ、**デンマーク**、バチカン、エジプト、インドネシア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ナイジェリア、**ノルウェー**、フィリピン、南アフリカ、**スイス**

●日本は「誘われず」



国連総会第一委員会 35力国声明 2012.10.22



- 日本は署名拒否。
- 「わが国の安全保障政策と相容れない」
- 「核兵器の非合法化に向けて努力を強化する」

日本政府の立場



- 核兵器使用は「国際法の基盤にある人道主義の精神に反する」が、「**国際人道法に反するとまでは言えない**」
- 理由は**核抑止力依存**。

「核兵器の非人道性」声明 日本は**またも**署名せず

■南アフリカが提出

■「非合法化」は原案から削除

■「**いかなる状況においても**核兵器が使用されないことが人類の生存に資する」

■80カ国が署名
(**NATO国**からはノルウェー、デンマーク、アイスランド、ルクセンブルグの4カ国)

■署名拒否した日本

- ・軍縮大使 「将来は真剣に参加を検討」
- ・官房長官 「わが国を取り巻く安全保障環境」



2013.10 「核兵器の非人道性」声明 日本、はじめて署名



- 「いかなる状況においても」はそのまま残る
 - 「すべてのアプローチを支持」
 - 「願望」「政治的サポート」／国際人道法への言及はなし
-
- 125カ国が署名（核の傘：ノルウェー、デンマーク、アイスランド、日本）
 - オーストラリア声明（17カ国、主として「核の傘」の国）
 - ・禁止だけではなくならない／安全保障も議論せよ／保有国も巻き込め

2013年3月、オスロ会議 核兵器の人道上の影響



【1】核兵器の即時的影響

【2】長期的影響

【3】人道救援の困難性



HUMANITARIAN IMPACT
OF NUCLEAR WEAPONS
Oslo, Norway 4-5 March 2013





TAKK

DIEURE
DIEUF

TAK

X Bana

Köszö

תודה

كأ

TEŞEKUR



OBRIGADO

감사합니다

THA
FOR

ཧཱུྃ་ཤཱུྃ་

■ メキシコ会議(第2回非人道性会議)



SECOND CONFERENCE ON THE HUMANITARIAN IMPACT OF NUCLEAR WEAPONS

NAYARIT, MEXICO 13-14 FEBRUARY, 2014



核兵器の人道上の影響に関する 国際会議

第1回・オスロ(ノルウェー)

ノルウェー政府が主催

127カ国が参加(核保有5カ国は欠席)

- ①核爆発の即時的影響
- ②より広範・長期的影響
- ③人道救援の可能性

第2回・ナジャリット(メキシコ)

メキシコ政府が主催

146カ国が参加(同上)

経済成長と発展に対する影響／核リスク

議長まとめ「核兵器を禁止する新たな国際規範へ外交プロセスを開始すべき。もはや後戻りはできない。原爆投下から70年がその一里塚だ」



HUMANITARIAN IMPACT OF NUCLEAR WEAPONS

CO 13-14 FEBRUARY, 2014





X BIOLOGICAL WEAPONS

Banned under the Biological
Weapons Convention

1972



X CHEMICAL WEAPONS

Banned under the Chemical
Weapons Convention

1993



X LAND MINES

Banned under the Anti-
Personnel Mine Ban Treaty

1997



X CLUSTER MUNITIONS

Banned under the Convention
on Cluster Munitions

2008



NUCLEAR WEAPONS

**NOT YET BANNED
BY TREATY**

大量破壊兵器に関する国際的な条約・枠組み

	核兵器	生物兵器	化学兵器
条約等	核不拡散条約 (NPT)	生物禁止条約 (BWC)	化学禁止条約 (CWC)
署名開始／発効	1968／1970	1972／1975	1993／1997
主な規定	5カ国を核兵器国、他を非核兵器国と定める	全面禁止条約 (開発・生産・貯蔵)	全面禁止条約 (開発・生産・貯蔵・使用)
検証制度・関連機関	国際原子力機関 (IAEA)、ウィーン	なし	化学兵器禁止機関 (OPCW)、ハーグ
加盟国数 (2014. 5現在)	190カ国*	168カ国	190カ国
主な未加盟国 (2014. 5現在)	インド、パキスタン、イスラエル、(北朝鮮*)	イスラエル、エジプト**、ミャンマー**、シリア**他	エジプト、北朝鮮、イスラエル**、ミャンマー**他

*北朝鮮は2003年にNPT脱退を宣言したが、その法的地位には争いがある。190カ国は北朝鮮を含めた数字。

**署名したが批准していない国々。

非人道性
第3回会議 ウィーン
(オーストリア政府主催)
2014年12月8～9日



- 核兵器の人道上の影響
- 核兵器に関わるリスク
- 被爆者の発言、核実験の影響
- 国際法上の議論
- 核兵器国の米英参加



市民社会フォーラム 12月6～7日



ICAN VIENNA, 6-7 DECEMBER
THE COURAGE TO BAN NUCLEAR WEAPONS

WELCOME TO THE ICAN
CIVIL SOCIETY FORUM!

BAN
NUCLEAR
WEAPONS
www.gmshyond.es

BAN

NUCLEAR

WEAPONS

ican

ican



オーストリアの誓約(プレッジ)

- 「法的なギャップを埋める」
- 核兵器を「忌むべきものとし(stigmatize)、禁止し、廃絶する」
- 国家、国際機関、赤十字、市民社会などと協力して行動していく

今後の動き



2015年

4月27日～ NPT再検討会議

非人道性 次のステップ？

8月 被爆70周年
国連軍縮広島会議

11月 パグウォッシュ会議（長崎）

核兵器禁止条約



☆禁止→廃棄→検証

☆核保有国の参加は必須か？

●「包括的」核兵器禁止条約

●禁止先行型

●枠組み条約

●使用禁止条約

議論は「是非？」ではなく、「どのように？」へ

ヒバクシャ地球一周 証言の航海



これまでの主な活動／成果

Activities and achievements thus far

- 各地で証言交流会 Testimony sessions
- 政府への働きかけ Meeting governments
- 国連での取り組み Advocacy at the UN
- 平和市長会議の加盟促進 Mayors for Peace
- グローバルヒバクシャの連帯
Global Hibakusha collaboration





非核特使 ユース非核特使



「継承者」に求められるもの Qualifications for Story tellers



- 被害の全体像（統計など）
Overview (Statistics etc) of the damage
- 歴史的文脈
Historical contexts
- 今日の核問題とのつながり
Links to today's nuclear issues
- プレゼンテーション技術（言語、IT）
Presentation skills (language, IT)

A JOURNEY TO THE HEART OF THE WORLD

"I WAS HER AGE"



2015年4～7月 第8回 証言の航海

核兵器を禁止する



川崎 哲

核兵器を禁止する

川崎 哲

参考：
川崎哲
岩波ブックレット
「核兵器を禁止する」



kawasaki@peaceboat.gr.jp

国際法で禁止されていない唯一の
大量破壊兵器、核兵器。
いま、世界で注目される
「核兵器禁止条約」を解説！



わかる、使えるくはじめの1冊>
岩波ブックレット

定価（本体520円＋税）

岩波ブックレット
906